

3 農業生産における環境負荷の軽減に取り組みます。

肥料・農薬・飼料の使用基準の遵守や、土壌流出や耕作放棄地の抑制等の、地域実態に応じて、環境負荷の軽減に配慮した農業生産の仕組みを目指します。そして、その農業を推進することで生態系の保全に寄与します。



JA海部東初となる貸し農園「JA海部東農園 甚目寺」

Ⅱ 地域・暮らし事業分野

4 安心して暮らせる持続可能で豊かな地域社会づくりに貢献していきます。

地域の存続に不可欠な店舗の運営や移動販売車の運行等を通じて、生活基盤が脆弱な環境下にある組合員・地域住民が基礎的サービスにアクセスできる機会を確保します。また、高齢者福祉事業や健康管理活動等の様々なサービスの提供を受ける機会を確保します。さらに、農福連携の取り組みを支援します。



ミニデイサービスを行う 助け合い組織「なの花の会」



料理教室を行い交流を深める「女性部」

Ⅲ 協同・組織運営分野

5 国内外の多様な関係者・仲間との連携・参画に努めます。

地域で暮らす全ての人が生きがいをもって共に成長し続ける社会に貢献します。このため、組合員の積極的な活動参加・運営参画の推進、女性理事・総代の登用促進、また、他の協同組合や商工会、地方公共団体等、地域の多様な組織とのパートナーシップを通じて、地方創生に取り組みます。



海部東子どもうぎょうきょうどうくみあいの実施

SDGs17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS SDGsとJA

JAグループはSDGs取組方針を策定しました



JAグループは、持続可能な開発目標(SDGs)への取組方針を策定しました。取組方針では、JAグループのSDGs目標達成への貢献を宣言しています。また、JAグループの具体的取組事項を3つの分野(①食料・農業事業、②地域・暮らし事業、③協同・組織運営)・5つの取り組みに分けて整理しています。

[宣言]

わたしたちJAグループは、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に賛同し、その達成に向けて、事業・活動に取り組みます。

JAグループは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員の皆さんの声に応えながら、不断の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んできました。今後はさらに、わたしたちの事業や活動が与える多面的な影響にも配慮しながら、地球的視野に立ち、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新をはかり、社会的役割を誠実に果たします。JAグループは、各々の置かれた環境を踏まえて、SDGsの達成に向けて、事業・活動に取り組んでいきます。

※「持続可能な開発のための2030アジェンダ」とは、平成27年に国連サミットで採択された、SDGsを中核とする合意文書

Ⅰ 食料・農業事業分野

1 持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組みます。

全ての国民に安定的に食料を供給して食料安全保障の確立に寄与します。このため、JAの自己改革の取り組みを進め、生産基盤の重要な要素である担い手の確保・育成と農地の保全・活用に努めます。



農業塾の開講により新規就農者支援・産地育成

2 持続可能なフードシステムの構築に取り組みます。

生産段階、流通・販売段階、消費段階において、省資源化、エネルギー効率化、フードロス削減等の取り組みを進めることで、持続可能なフードシステムを構築します。



グリーンプラザにおける野菜の販売